



けんすけタイムズ kensuke Times

立憲民主
The Constitutional Democratic Press
RIKKEN MINSHU

立憲民主編集部
〒102-0093 東京都千代田区平河町
2-12-4 ふじビル3F
Tel.03-6811-2301 Fax.03-6811-2302
[Mail] goiken@cdp-japan.net [HP] http://cdp-japan.jp/

愛知 13 区
安城・刈谷・碧南・知立・高浜

衆議院議員

タイトル
異次元少子化対策を斬る



HP QR コード



おおにし健介

1. 異次元の無責任さ

女性 1 人が生涯に産む子どもの数を示す合計特殊出生率が過去最低の 1.26 となる中、政府は「次元の異なる少子化対策」の素案を発表しました。

これには、2つの驚きがありました。まず、1つは、これまでの 3 兆円だった加速化プランの規模が 3 兆円半ばと、突然 5000 億円積み増されたことです。これには、財務省からも「中身も財源も分からない」と戸惑いの声があがっています。対策が強化されることは歓迎ですが、保育の質の向上に 3000 億円を充てるという 10 年前の約束さえ守れていないのに、どこから 5 千億円もの財源が出てくるのか。財源については、社会保障の歳出削減や「支援金制度の創設」の言葉はあるものの具体策は示されず、「年末までに結論を出す」と先送りされました。

もう 1 つの驚きは、岸田首相は、予算委員会、子ども予算倍増に向けた「大枠」を 6 月の「骨太方針」の中で示すと繰り返し答弁してきましたが、予算の倍増は「30 年代初頭に実現を目指す」とし、そのために必要な財源の規模さえあいまいなままです。これでは「骨太方針」ではなく「骨抜き方針」です。



NHK 日曜討論に出演しました!



2. どうする少子化財源

政府は、当初、必要な財源のうち、0.9～1兆円程度を社会保険料への上乗せで対応する考えを示していました。しかし、それはリスクに備えるという社会保険の原則に反する上、保険料負担は「隠れ増税」となり、企業の賃上げ意欲を削ぐとともに現役世代の手取り賃金を減らすので私は反対です。

1兆円程度であれば、税制改革により財源確保は可能です。日本はG7の中で最も税の所得再配分が弱く、所得税や金融所得課税の累進を強化して高額所得者により負担をお願いすることや相続税の強化などにより財源を捻出すべきだと思います。

また、「中抜き」や基金の剰余金といったムダをなくして、子どものために使うべきと考えますが、社会保障費の歳出改革については、救急車のたらい回しといった医療崩壊を招かないよう注意が必要です。

ただし、子ども予算倍増となると、8～9兆円規模の予算が必要となります。私は、防衛予算倍増より子ども政策に予算を割くべきだと思いますが、財源は限られており、防衛にも、子育てにも、社会保障にもお金はかかるのであり、バラバラに議論しても埒が明かないと思います。民主党政権で、社会保障制度改革国民会議を設置して、社会保障を政争の具にせず、事実に基づく客観的な議論を行い、社会保障と税の一体改革を3党で合意した時のような仕組みが必要ではないかと個人的には考えています。

3. 国民に負担を求める前に

私は、5月24日の予算委員会集中審議で、国交省OBによる人事介入疑惑、OBを介した天下り問題を取りあげました。物価高、電気料金値上げで年金生活者は苦しい暮らしを強いられているのに、「上級国民」の高級官僚たちは天下りライフを満喫しています。

防衛増税、社会保険料の上乗せなど国民負担を増やそうという議論が進む中、その前に、税を食い荒らすシロアリ退治、天下り根絶に取り組むべきです。

官僚OBが民間企業に対して、自身のバックをチラつかせながら、ポストを要求するというヤクザ顔負けの行状は言語道断です。

「上級国民」、官僚OBをかばう与党に対して、我々、立憲民主党は、OBを介した天下りあっせんを禁止する議員立法を国会に提出する予定です。



Profile



- ▶ 昭和46年4月13日生まれ ▶ 京都大学 法学部卒
- ▶ 党務では、選対委員長、青年局長などを経て、現在は政務調査会会長代理（筆頭代理）次の内閣 NC ネクスト内閣官房副長官
- ▶ 国会では、予算委員会、厚生労働委員会、情報監査審査会
- ▶ 小学生、中学生2人の男の子のパパ。ニックネームは「オニケン」
- ▶ 国会職員、在アメリカ大使館二等書記官、衆議院議員 馬淵澄夫政策担当秘書を経て、平成21年第45回衆議院議員総選挙で初当選。以来、連続5期当選。